



現場レポート

行田軽トラ朝市に農産物が並ぶまで



品種は「桃太郎」。ぎっしりと詰まった実は、甘くてみずみずしい。さんつけたトマトの木がずらり。

ハウスの中には、大きな実をたく約20アールの畑でさまざまな季節の野菜を栽培しています。

行田軽トラ朝市を楽しむ



「生産者の顔が見える安心・安全な農産物を、新鮮なうちにお客さまへ届けること」をモットーに掲げているとあって、行田軽トラ朝市に並ぶ農産物はどれも鮮度が抜群。しかし、それだけではありません。農家の方が質を追求して作った行田ならではの農産物は、どれも個性的なものばかりです。同じものを育てても、土や水など育てる環境によって変わるため、農家ごとの味が楽しめます。それぞれ

楽しみ方は十人十色



食べ比べて、お気に入りの一品を探すことも行田軽トラ朝市ならではの楽しみの一つです。また、生産者から直接買うことが出来るのも魅力です。生産者は何十年と農業に携わってきたプロの方ばかり。農産物を手に取りながら、それぞれのこだわりや、農家ならではのおいしい食べ方、おいしい野菜を作る秘けつなどをぜひ聞いてみてください。



実際に会場を訪れて、あなただけの行田軽トラ朝市の楽しみ方を見つけてみてはいかがでしょうか。

皆さん「ロマネスコ」という野菜をご存じでしょうか。ここ数年で行田でも出始めたヨーロッパ原産の野菜です。ロマネスコが軽トラ朝市に現れたのは昨年冬のこと。いつもはブロッコリーを並べている農家の荷台に見慣れない野菜と「ロマネスコ」の文字。そう、このロマネスコの正体はブロッコリーとカリフラワーを掛け合わせた野菜なのです。ブロッコリーのような、カリフラワーのような、何とも言えない不思議な味で、販売当初はまだあまり知られていませんでしたが、徐々に口コミで広がり、その不思議な味に魅了される人が続出。実際、今年に入ってから完売の日が続きました。

ロマネスコって何？

行田軽トラ朝市 秘情報1



秋山 光司さん (渡柳)
野菜づくりに携わって50年。行田軽トラ朝市には平成24年から参加。



収穫されたトマトは、袋詰めにして出荷します。



「毎日の観察が欠かせない」と語る秋山さん。一つ一つ丁寧に収穫します。

地域の皆さんの笑顔のために

「安心・安全・新鮮・おいしい」農産物を販売する行田軽トラ朝市の取り組みが始まって今年で4年目。これまで、地域の皆さんにさまざまな「旬」を届けてきました。「おいしかったよ」「また買いに来たよ」「次も楽しみにしているね」という声が出店者にとって何よりの励みになります。

現在、行田軽トラ朝市で取り扱っているものは農産物が主ですが、今後は加工品やその他の

食品など、商店主の方々の出店を増やしていきます。もちろん、現在の農産物の品質と品ぞろえは変えませんが、安心ください。

皆さんも、毎月第3日曜日の朝は、行田軽トラ朝市へ足を運んでみてください。きっと、すてきな出会いがありますよ。

貯めてお得な「行田軽トラ朝市カード」

1つの軽トラで500円分購入すると、スタンプを1個押しもらえます。スタンプを10個貯めると、500円分のお買い物券(軽トラ朝市のみで使用可)と交換します。期限はありませんので時間を掛けて貯めることもできます。



あなたも出店しませんか

行田軽トラ朝市実行委員会では出店登録者を募集しています。詳細は同委員会事務局(農政課内)へ問い合わせください。

次回定期開催のお知らせ

次回の行田軽トラ朝市は、イベント盛りだくさんの「夏祭り」。時間も延長して開催します。

- ▶日時 8月18日(日)午前8時～正午
 - ▶内容 行田在来青大豆のつかみどり(無料)※行田軽トラ朝市で買い物をした方限定、ヨーヨー釣り(子ども限定)、じゃがバターの試食など
- ※雨天決行、強雨などの場合は中止となる場合があります。

お客さんにインタビュー



清水 美喜さん(忍)

軽トラ朝市のいいところは、直接生産者と話せることです。相手はプロですから、調理法に合った野菜の選び方などを教えてもらって、スーパーで買い物をするときにも参考にしています。毎月、第3日曜日を楽しみにしていますよ。

人気の商品は?

一番人気はイチゴ。甘くておいしいイチゴは、荷台に並べられるとあっという間に売れて、毎回完売です。ファンも多く、時期になるとお客さんから「今日はイチゴの販売はありますか」と尋ねられることも多々あります。期間限定ですが、イチゴの時期になったら、早起きして買いに来てみてはいかがでしょうか。



行田軽トラ朝市 秘情報2